プログラム

11 月 20 日（金）

第 1 会場（会議室 1）

開会の辞　8:50 ～

一般演題 1　9:00 ～ 9:45

［消化管］

座長：原田 大（産業医科大学第 3 内科学）
北川 博之（高知大学医学部外科学講座）

O1-1　NHPH 感染による壁細胞内の特異な変化：過度の autophagy と PCD の関連

◯中村 正彦（なかむら まさひこ）[1)]、寺田 総一郎[2)]、船津 和夫[3)]、鈴木 秀和[4)]

1）東海大学 医学部、2）江戸川メディケア病院健診センター、3）三越厚生事業団三越診療所、
4）東海大学消化器内科

O1-2　早期大腸癌におけるポドプラニン陽性癌関連線維芽細胞の評価：戻し免疫電顕による探索的検討

◯南雲 佑（なぐも たすく）[1)]、高野 弓加[1)]、髙木 孝士[2)]

1）昭和医科大学江東豊洲病院 臨床病理診断科、2）昭和医科大学 電子顕微鏡室

O1-3　大腸癌の腫瘍微小環境における腫瘍関連マクロファージ（TAM）の TGF-β発現の意義

◯近藤 嘉彦（こんどう よしひこ）[1,2)]、山田 倫[2)]、菰原 義弘[1)]

1）熊本大学大学院 細胞病理、2）熊本大学病院 病理部 / 病理診断科

シンポジウム 1　9:50 ～ 12:20

［分子組織細胞化学の新たな領域展開］

座長：菱川 善隆（宮崎大学医学部解剖学講座組織細胞化学分野）
森本 景之（産業医科大学医学部第二解剖学）

S1-1　腸上皮オルガノイドを用いた分子組織細胞化学

◯馬場 良子（ばば りょうこ）、國分 啓司、森本 景之

産業医科大学 医学部第 2 解剖学

S1-2　DNA 四重鎖構造の時空間的形成動態の分子組織細胞化学

◯石塚 匠（いしづか たくみ）、アウン ケンモ、菱川 善隆

宮崎大学 医学部解剖学講座組織細胞化学分野

S1-3　齧歯類脳における性的二型を伴う ESR2 の発現と発現調節

◯石井 寛高（いしい ひろたか）

日本医科大学 大学院医学研究科 解剖学・神経生物学分野

S1-4　新規蛍光イメージング技術による皮膚疾患の病態解明と臨床への展開

◯吉田 諭（よしだ さとし）[1)]、川上 良介[2)]、仁子 陽輔[3)]、今村 健志[2)]、菱川 善隆[4)]、村上 正基[4)]

1）愛媛大学 皮膚科、2）愛媛大学 分子病態医学、3）高知大学 教育研究部総合科学系複合領域科学、
4）宮崎大学 解剖学講座組織細胞化学

S1-5　病理組織を用いた分子組織細胞化学 ―レーザーマイクロダイセクション法による遺伝子発現解析から多重蛍光染色、臨床応用まで―

○中西 陽子（なかにし ようこ）[1)]、廣谷 ゆかり[1)]、西巻 はるな[1,2)]、谷野 智将[1,2)]、野嵜 史[1,3)]、唐 小燕[1,3)]、飯田 由子[4,5)]、辻野 一郎[4,5)]、中川 喜子[4,6)]、清水 哲男[4,6)]、権 寧博[4,6)]

1）日本大学医学部 病態病理学系腫瘍病理学分野、2）日本大学医学部附属板橋病院 病理診断科、
3）日本大学病院 病理診断科、4）日本大学医学部 内科学系呼吸器内科学分野、
5）日本大学病院 呼吸器内科、6）日本大学医学部附属板橋病院 呼吸器内科

プログラム

ランチョンセミナー　12:25 ～ 13:15　　共催：一般社団法人徳洲会

座長：大山 健一（国際医療福祉大学医学部脳神経外科）

LS　意識障害診療における東洋医学的アプローチ

○展 広智（てん　ひろとも）

帝京平成大学健康科学研究科

特別講演 1　13:20 ～ 14:20

座長：松野 彰（国際医療福祉大学医学部脳神経外科）

SL-1　分子が紐解く下垂体腫瘍 PitNET：疾患の克服を目指して

○長村 義之（おさむら よしゆき）

日本鋼管病院　病理診断センター / 慶応義塾大学医学部 / 東海大学

特別講演 2　14:25 ～ 15:25

座長：松野 彰（国際医療福祉大学医学部脳神経外科）

SL-2　難治性不随意運動症の病態生理とその外科的治療

○上利 崇（あがり　たかし）

国際医療福祉大学成田病院脳神経外科

シンポジウム 2　15:30 ～ 17:00

［病理組織の非破壊 3D 解析による研究から臨床応用への展望］

座長：中西 陽子（日本大学医学部病態病理学系腫瘍病理学分野）
松野 彰（国際医療福祉大学医学部脳神経外科）

S2-1　パラフィンブロックの非破壊３D 解析

○中西 陽子（なかにし ようこ）[1)]、Teplov Alexei[2)]、廣谷 ゆかり[1)]、西巻 はるな[1)]、谷野 智将[1)]、野嵜 史[1)]、唐 小燕[1)]、飯田 由子[3)]、河内 利賢[4)]、八木 由香子[2,5)]

1）日本大学 医学部　病態病理学系　腫瘍病理学分野、
2）Memorial Sloan Kettering Cancer Center Department of Pathology & Lab Medicine、
3）日本大学 医学部 内科学系 呼吸器内科学分野、4）日本大学 医学部 外科学系 呼吸器外科学分野、
5）Weill Cornell Medical College Pathology and Lab Medicine

S2-2　Micro-CT による感染症病理の非破壊 3D 解析 ―病巣の可視化から感染経路の可視化へ―

◯塚本 徹哉（つかもと てつや）[1,2)]

1）藤田医科大学 病理学、2）名城大学 情報工学部

S2-3　Future Perspectives of Pathology Diagnosis: The roles of 3D Imaging

◯八木 由香子（やぎ ゆかこ）

Memorial Sloan Kettering Cancer Center

第 2 会場（会議室 4 + 5）

ワークショップ　9:00 ～ 10:30

［泌尿・生殖器の病態］

座長：梶原 健（埼玉医科大学産婦人科学教室）
奈須 家栄（大分大学医学部地域医療支援システム産婦人科分野）

WS-1　WSI を用いた子宮平滑筋肉腫の腫瘍微小環境の定量評価

◯齋藤 晋平（さいとう しんぺい）[1,2)]、久保 輝文[2)]、小川 栞[1,2)]、真里谷 奨[1)]、廣橋 良彦[2)]

1）札幌医科大学 産婦人科学講座、2）札幌医科大学 病理学第一分野

WS-2　腸型腺癌への悪性転化を認めた成熟嚢胞性奇形腫の一例

◯益原 朋香（ますはら ともか）[1)]、山口 哲[2)]、石亀 明日香[2)]、松村 舞依[3)]、亀井 良政[2)]、梶原 健[2)]

1）埼玉医科大学病院 臨床研修センター、2）埼玉医科大学病院 産婦人科、
3）埼玉医科大学病院 中央病理診断部病理診断科

WS-3　HDAC10 による DACH1 および IRF6 のエピジェネティクス制御機構と 子宮内膜症の病態への関与

◯麻生 咲季（あそう さき）、奈須 家栄、青柳 陽子、甲斐 健太郎、岡本 真実子、小林 栄仁

大分大学医学部 産科婦人科

WS-4　子宮内膜肥厚を契機に診断に至った卵巣ステロイド細胞腫瘍の一例

◯田中 望（たなか のぞみ）[1)]、齋藤 良平[1)]、松村 舞依[2)]、吉澤 佳那[1)]、熊谷 奈美[1)]、鷹野 夏子[1)]、田丸 俊輔[1)]、高村 将司[1)]、山田 健人[2)]、亀井 良政[1)]、梶原 健[1)]

1）埼玉医科大学病院 産婦人科、2）埼玉医科大学病院 中央病理診断部・病理診断科

WS-5　進行卵巣癌における術前化学療法の有効性予測因子に関する探索的解析：少数症例コホート研究

◯小谷 燦璃古（こたに きりこ）[1)]、清水 裕介[1)]、山本 直樹[2,3)]、塩釜 和也[4)]、平山 将也[4)]、加藤 由布[2)]、岩田 彩[1)]、磯村 くるみ[1)]、髙木 淳一[1)]、髙田 恭平[1)]、大脇 晶子[1)]、伊藤 真友子[1)]、大谷 清香[1)]、市川 亮子[1)]、西尾 永司[1)]、野村 弘行[5)]、西澤 春紀[1)]、木須 伊織[1)]

1）藤田医科大学 産婦人科、2）藤田医科大学 研究推進本部・産官学連携推進センター、
3）山陽小野田市立山口東京理科大学 工学部医薬工学科、
4）藤田医科大学 医療科学部 臨床教育連携ユニット 病理組織細胞学分野、5）東海大学 産婦人科

WS-6　雄性不妊を呈する Tysnd1 欠損マウスの奇形精子の微細構造解析

◯水野 由美（みずの ゆみ）[1,2)]、水野 洋介[1,3)]、梶原 健[2)]

1）埼玉医科大学 中央研究施設、2）埼玉医科大学 産科・婦人科、3）埼玉医科大学 ゲノム医療科

一般演題 2　10:35 ～ 11:20

［技法その他］

座長：若山 友彦（熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理分野）
髙木 孝士（昭和医科大学　電子顕微鏡室）

O2-1　マラコプラキア Michaelis-Gutmann 小体の構成元素解析 ― FFPE 切片の反射電子像と EDX による検討

○奥島 浩久（おくしま ひろひさ）[1)]、村上 太郎[2)]、高澤 久美[2)]、上小倉 昌代[2)]、早川 祐子[1)]、上小倉 佑機[2,3)]、小幡 雅彦[3)]、小山内 誠[4)]、大崎 雄樹[5)]、髙澤 啓[2)]

1）札幌医科大学 教育研究機器センター電子顕微鏡部門、2）旭川医科大学 病理学講座腫瘍病理分野、
3）旭川赤十字病院 病理診断科、4）札幌医科大学 病理学講座病理学第二講座、
5）札幌医科大学 解剖学講座細胞組織学分野

O2-2　電子顕微鏡観察とプロテオーム解析により同定に至った Congo-red 染色陰性のアミロイドーシスの 1 例

○村上 太郎（むらかみ たろう）[1)]、菊地 慶介[2)]、高澤 久美[1)]、奥島 浩久[3)]、多田 聡法[1)]、小野 佑輔[4)]、及能 大輔[4)]、北村 哲也[1,5)]、村田 雅樹[1,6)]、小幡 雅彦[7)]、小山内 誠[4)]、高澤 啓[1)]

1）旭川医科大学 病理学講座 腫瘍病理分野、2）帯広厚生病院 病理診断科、
3）札幌医科大学 医学部 教育研究機器センター 電子顕微鏡部門、
4）札幌医科大学 医学部 病理学講座 病理学第二分野、5）北海道口腔病理診断所、
6）カレス記念病院 病理診断科、7）旭川赤十字病院 病理診断科

O2-3　舌癌微小環境におけるコラーゲン発現とリモデリングの病理学的意義

○甲斐 亮乃介（かい りょうのすけ）[1,2)]、久保田 壽樹[1,2)]、石塚　匠[2)]、甲斐 健吾[2,3)]、金氏 毅[2)]、山下 善弘[2)]、菱川 善隆[1)]

1）宮崎大学医学部附属病院 解剖学講座組織細胞化学分野、
2）宮崎大学医学部附属病院 感覚運動医学講座顎顔面口腔外科学分野、
3）宮崎大学医学部附属病院 外科学講座

一般演題 3　16:00 ～ 16:45

［脳・神経系］

座長：永田 浩一（医療法人社団誠広会 平野総合病院）
浜田 奈々子（愛知県医療療育総合センター 発達障害研究所 分子病態研究部）

O3-1　細胞内シグナル伝達分子 RAC1 の異常活性化は小頭症の原因となる

○永田 浩一（ながた こういち）[1,2)]、西川 将司[3)]、岩本 郁子[2)]、浜田 奈々子[2)]

1）医療法人社団誠広会 平野総合病院 リハビリテーション、
2）愛知県医療療育総合センター発達障害研究所 分子病態、3）名古屋大学大学院理学研究科 生命理学

O3-2　RAC1 制御分子 HACE1 の神経発達における機能解析

○市川 涼将（いちかわ りょうすけ）[1)]、花房 宏昭[2)]、山口 宏[2)]、木下 専[1)]、西川 将司[1)]

1）名古屋大学大学院 理学研究科、2）神戸大学大学院 医学研究科

O3-3　ヒト Glymphatic system の構築と加齢・アルツハイマー病による変容

○下田 浩（しもだ ひろし）[1)]、齊藤 絵里奈[2)]、岡野 大輔[2)]、千葉 智博[1)]

1）弘前大学 大学院医学研究科 生体構造医科学講座、
2）弘前大学 大学院医学研究科 神経解剖・細胞組織学講座

11月21日（土）

第1会場（会議室1）

シンポジウム3　8:30～10:30

［肝胆道領域の新潮流］

座長：原田 憲一（金沢大学医薬保健研究域医学系人体病理）
秋葉 純（久留米大学医学部病理学）

S3-1　MASH肝におけるCD34陽性細胞移植によるLSECの免疫・代謝リモデリング

○増田 篤高（ますだ あつたか）、中村 徹、古賀 浩則、川口 巧
久留米大学 医学部内科学講座消化器内科部門

S3-2　抗セントロメア抗体陽性PBCにみられる線維化と門脈圧亢進の乖離
―PSVDの形態学的観点から―

○吉村 かおり（よしむら かおり）、原田 憲一
金沢大学 医薬保健研究域医学系人体病理学

S3-3　iHFC食を用いたマウス肝再生過程における細胞増殖制御機構の解析

○横川 春香（よこがわ はるか）[1)]、Lkham-Erdene Baljinnyam[1)]、甲斐 健吾[1)]、
Oo PhyuSynn[1)]、石塚 匠[1)]、清水 真祐子[2)]、常山 幸一[2)]
1）宮崎大学 医学部解剖学講座組織細胞化学分野、2）徳島大学 大学院医歯薬学研究部疾患病理学分野

S3-4　肝細胞癌に対する分子標的治療効果へのHippo-YAP経路の影響

○本間 雄一（ほんま ゆういち）、吉富 健悟、池見 雅俊、荻野 学芳、大江 晋司、宮川 恒一郎、
原田 大
産業医科大学 医学部 / 第3内科学

一般演題4　10:35～11:20

［腫瘍免疫］

座長：村上 一郎（高知大学医学部病理学講座）
並川 努（高知大学医学部外科学講座）

O4-1　口腔癌におけるCD8陽性腫瘍浸潤リンパ球と治療反応性・予後との関連

○伊禮 功（いれい いさお）[1)]、福田 裕次郎[2)]、塩見 達志[3)]
1）川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床検査学科、2）川崎医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科、
3）川崎医科大学 病理学教室

O4-2　がん免疫療法におけるVEGF阻害剤の意義を考察する@膠芽腫における研究紹介

○菰原 義弘（こもはら よしひろ）[1)]、松﨑 啓亮[2)]、武笠 晃丈[2)]、田中 俊英[3)]
1）熊本大学 大学院生命科学研究部細胞病理学、2）熊本大学 大学院生命科学研究部脳神経外科、
3）東京慈恵会医科大学 脳神経外科

O4-3　甘味料の摂取期間の違いによる大腸がんの進展ならびに腫瘍微小環境に与える影響

○境田 奈津子（さかいだ なつこ）[1,2)]、岡部 文奈[1)]、藤原 章雄[1)]、菰原 義弘[1)]
1）熊本大学 細胞病理学講座、2）熊本県立大学 環境共生学部

会長講演 11:30 ～ 12:00

PL 脳神経外科医として考えてきたこと：下垂体研究

◯松野 彰（まつの あきら）
国際医療福祉大学医学部脳神経外科

評議員会・総会 12:10 ～ 13:00

森道夫賞受賞講演 13:00 ～ 14:00

座長：齋藤 豪（札幌医科大学 産婦人科学講座）

AL-1 組織から染色体、そして胚へ ―産婦人科臨床から出発した分子形態学的研究―

◯真里谷 奨（まりや たすく）
札幌医科大学医学部産婦人科学講座

AL-2 神経発生における RAC シグナルの役割とその異常による発達障害の病態機序

◯西川 将司（にしかわ まさし）
名古屋大学大学院理学研究科附属ニューロサイエンス研究センター 細胞制御学チーム

特別講演 3 14:05 ～ 15:05

座長：松野 彰（国際医療福祉大学医学部脳神経外科）

SL-3 ■■■■■■■■■■■■

◯中冨 浩文（なかとみ ひろふみ）
国際医療福祉大学

シンポジウム 4 15:10 ～ 16:40

［卓上低真空走査型電顕 LVSEM の臨床応用］

座長：藤乗 嗣泰（獨協医科大学病院 血液浄化センター）
大野 伸彦（自治医科大学医学部解剖学講座組織学部門）

S4-1 LVSEM を基盤とした臨床検体の統合オミクス研究

◯小川 覚之（おがわ ただゆき）
獨協医科大学 先端医科学研究センター 分子病態研究室

S4-2 LVSEM を用いた病態解明と治療への応用

◯藤乗 嗣泰（とうじょう あきひろ）[1)]、小川 覚之[2)]、鵜沼 香奈[1)]
1）東京科学大学 法医学分野、2）獨協医科大学 先端医科学研究センター 分子病態研究室

S4-3 SBF-SEM が示した SGLT 阻害薬による MASLD 肝脂肪滴接着ミトコンドリアの再構築

◯齊藤 成（さいとう せい）[1)]、Sasikarn Looprasertkul[2)]、大野 伸彦[3,4)]、伊藤 弘康[1,5)]
1）藤田医科大学 医療科学部 臨床教育連携ユニット 病態システム解析医学分野、
2）自然科学研究機構 生理学研究所 脳機能計測・支援センター、
3）自然科学研究機構 生理学研究所 超微形態研究部門、4）自治医科大学 解剖学講座 組織学部門、
5）藤田医科大学 医学部 臨床検査科

閉会の辞 16:40 ～

第 2 会場（会議室 4 + 5）

シンポジウム 5　8:30 ～ 10:30

［多階層解析が拓く神経疾患の新たな病態の理解と治療戦略］

座長：大野 伸彦（自治医科大学医学部解剖学講座組織学部門）
谷田 以誠（順天堂大学大学院）

S5-1　生体シグナルとしての酸化ストレスと中枢神経の脆弱性

◯荒木 敏之（あらき としゆき）

国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第五部

S5-2　In-resin CLEM：神経変性疾患モデルマウス脳組織の蛍光シグナルに潜む超微形態を視る

◯谷田 以誠（たにだ いせい）、三井 駿、山口 隼司、鈴木 ちぐれ、内山 安男

順天堂大学大学院 医学研究科 老人性疾患病態・治療研究センター

S5-3　脳梗塞や多発性硬化症に伴う白質障害における病態解明と新たな治療戦略

◯山崎 礼二（やまざき れいじ）[1)]、大野 伸彦 [1,2)]

1）自治医科大学 医学部解剖学講座組織学部門、2）生理学研究所 超微形態研究部門

S5-4　小頭症と脳構造異常の原因となる CEP152 バリアントにおける異なる病態メカニズム

◯浜田 奈々子（はまだ ななこ）[1)]、岩本 郁子 [1)]、西條 琢真 [1)]、上原 朋子 [2)]、武内 俊樹 [2)]、小崎 健次郎 [2)]、Shifman Sagiv[3)]、水野 誠司 [4)]、大野 伸彦 [5)]、Alkuraya Fowzan[6)]、永田 浩一 [1,7)]

1）愛知県医療療育総合センター 発達障害研究所 分子病態研究部、
2）慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター、3）Alexander Silberman Inst Life Sci, Hebrew Univ、
4）愛知県医療療育総合センター中央病院、5）自治医科大学医学部 解剖学講座、
6）King Faisal Hosp and Res Center、7）平野総合病院 内科

MMM・AHC 合同編集長会議　10:40 ～ 11:30

一般演題 5　14:20 ～ 15:05

［腫瘍 その他］

座長：古賀 博徳（久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門）
秋元 義弘（杏林大学医学部顕微解剖学教室）

O5-1　骨肉腫進展における HIF-1 αの役割と治療標的としての可能性

◯清水 孝恒（しみず たかつね）

星薬科大学 薬学部・病態生理学研究室

O5-2　GRHL2 は肝細胞由来胆管癌を誘導する新規マスター制御因子である

◯後藤 正憲（ごとう まさのり）、山田 英孝、宮崎 了輔、石川 励、葛城 慎也、S M Jahurul Haque、酒井 康弘、新村 和也

浜松医科大学 腫瘍病理学講座

O5-3　ミオシン調節経路の賦活化によるアクチン細胞骨格増強効果の分子形態学解析

◯田中 秀幸（たなか ひでゆき）

帝京大学 医学部解剖学講座